



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

# 正しい知識を持ってコロナを恐る！これが基本です！ おそれ

スーパーで買い物は大丈夫！で、イベントは危険！は、矛盾しています。

スーパーでも、イベントでも、条件は同じです。大切なことは、しっかりとしたコロナ対策がされているかということです。空気の換気が出来ていなければ、または、マスクをしない人が喋っていれば、それは、スーパーでも、イベントでも危ないもので、それらの対策がしっかりしているかという事が一番重要なのです。

### 感染パターン

まずコロナによる感染パターンをしっかりと理解する必要があるので、そちらからご説明します。

感染経路としては、感染者の口からの唾液や咳、それらを直接的、または間接的に口に付けてしまう事で感染します。

またそのほとんどが自分の手で口に運ぶか、話す事で飛んでくるツバなどで感染します。

感染者と1m以内に1分以上の時間で、口を開いて唾が飛んでる様な状態だと空気感染するとされています。

また唾液や咳が気化し、空気中に滞在し続ける環境(窓がない、地下など換気が全く出来ない環境)(いわゆるエアロゾル)という事でも感染します。

また汗など体液にはコロナは含まれないとされています。基本的に口からきます。

### 悪い例

過去にニュースで問題となった東京の小劇場でのイベントのクラスターに関しては、そもそも演者がマスクをしていない事(ツバが飛びます。)、客席と演者の距離が近かったこと、また元々空気の悪い場所で空気の入れ替えがしっかりしていないこと(エアロゾルの可能性あり)、また演者とお客様とが1m内で1分以上の接触(出待ちでのハグなどの接触)があったという事(ツバと直接接触の2重感染リスク)がクラスターの原因になったと考えられます。はっきり言えば感染する要因しかありません。そもそもこういうイベント自体を許してはいけないです、イベント業界はもっと信頼出来るイベントを打ち出していかないといけません。

### コロナの現状

感染原因是そのほとんどがマスクをしていない環境です。

2020年11月時点の現状の情報でわかることとして、飲食を伴う場所や、家庭内感染、夜の街、カラオケなども含め、そのほぼ全てがマスクをしていない環境で感染しています。また普段過ごして観察している分でも、この状況下でも、マスクをしない、マスクをせずに仕事をしている、という人が結構いるという事実があります。マスクをしていない人には極力近づかないということだけでも、コロナ感染のリスクが極限まで抑えられているというのが現状なのです。

**マスクをしていて換気が出来る場所での感染はありません**

また上記を踏まえて、マスクをしている状態で、換気が出来ている場所での感染は今まで一例もありません。あんな密な状態の電車などでさえ、換気がされていてマスクをしているから、感染しないというのが事実なのです。この状態を守れば、イベント自体は怖える必要もなく、なんら問題がないのです。



## withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

# アキラボーイはPCR検査を行なっております！

イベント開催者様の不安をぬぐうために、アキラボーイはイベントに合わせて定期的に(月2~4回程度)PCR検査を行なっております!

主役としての基本的な役目です。※イベント毎での検査が希望であれば、費用(4千円程度)をご負担頂ければ対応させて頂きます。

## 検査は抗体検査と、PCR検査の2種類あります。



現在PCR検査費用が、1年前よりも、10倍以上の値下がりを見せており、ビジネス的にも、このPCR検査は終焉を迎える始まりであり、コロナに関しても、ワクチン摂取などようやく出口が見えている状態となっています。

現在はその費用面でも手軽さがあり、検査結果が出るまでは2日間程度かかりますが、PCR検査が主流となっています。ただとても敏感にこのPCR検査を気にする方もいらっしゃいますが、個人的な意見としては、PCR検査よりも、普段の過ごし方の方がとても重要だと思っています。イベント2日前に検査を行っても、2日間で感染リスクのある生活を行っていては、なんの意味にもなくなるのがこのPCR検査です。

なので基本的には、感染していても、または感染者が近くにいても、感染しない対策を行っているか、またそういう日常生活を過ごしているかが最重要であり、それらを日常的に行っているかを信じてもらうしか方法がありません。

ただこの信頼を証明することがとても難しいのも現実です。

ただ一つ科学的な根拠として、半年以上PCR検査を受け続けており、また数多く移動も行い、また数多くのイベントをこなしているにも関わらず、常時陰性という事実は、これは運ではなく、感染対策を日常的に行っている結果であり、これはPCR検査を受け続けている私が言える実際に体験している実話です。それを信じてもらうしか方法がありません。

またこの資料にまとめた情報でどれほど知識があるのか、ということを知てもらうしか方法がありません。

## 症状がない人はそう簡単に陽性にはなりません。

半年以上も受けている身から言わせて頂くと、症状も、濃厚接触なども心当たりが全くない人が、簡単に陽性にはなりません。ちまたで東京では症状もない人が多く陽性になってると言いますが、あれは、ホストクラブや夜の街など心あたりがありありな人ばかりです。普通に生活している人は、そうそうに陽性にはならないというのが私の感想です。



withコロナ時代を生き抜く  
安心安全なコロナ対策イベント運営(展示、展覧会系)

## コロナ対策その1「ボタンなどを非接触に対応！」



↑赤外線センサー制御での非接触スイッチ



今まで押しボタンなどで対応していたものを、全て赤外線スイッチ、マットセンサーに入れ替えました。  
これにより、お客様同士の関節的接触部分を無くしました。

## コロナ対策その2「お客様とスタッフは必ず消毒とマスク、検温を！」



口元は、マスクと  
マウスシールドの二重対策！



お客様には、入場時に必ず手の消毒と、検温、マスクの着用を義務化させます。マスクを持ってない方には、マスクの販売なども必要です。また走ったり運動することに関しては、空気がたまらないような環境でマスクをしている分には特にコロナリスクの問題はありません。汗などの感染もありません。基本的にはつばに注意させます。またある程度の時間で、会場の消毒作業を行っていきます。私の場合は、「消毒おじさんの登場ですー。」と言いながら、全体を消毒して回っていますw  
ただ消毒するだけだと子供達も「なんだなんだ?」と思いますので、そこも少しエンターテイメントをつけることで場が少しですが和みますw



withコロナ時代を生き抜く  
安心安全なコロナ対策イベント運営(展示、展覧会系)

## コロナ対策その3 「作品への列の並びも、目印をつけ、しっかり距離を置く！」



並ぶ列も目印をつけてしっかりと距離を取って並んで頂きます。  
このコロナ禍の世の中では、子供達も距離を取って並ぶ事をちゃんと理解しており、意外としっかりと決まりを守って並んでくれます。  
また目印から目印までジャンプして移動したり、この移動するだけでも楽しんでもれたりします。

## コロナ対策その4 「ワークショップ作品などで、触ってしまわないといけないものは、必ずその都度消毒！」



ワークショップ作品などだと、ペンや色鉛筆などを使用する必要がありますが、その様に触てしまわないといけないものに関しては、その都度消毒で対応します。



withコロナ時代を生き抜く  
安心安全なコロナ対策イベント運営(展示、展覧会系)

## コロナ対策その5 「しっかりとした換気を！」



窓なども開けて、換気を保ちます。またスペースも、通常よりも広く保つ事で、空気の循環を行ふと共に、密接をさけます。

窓の開けることで太陽光などの外光が入ってしまい、部屋が明るくなりますが、また弊社の作品には、明るいと影響を受ける作品がいくつかありますが、会場条件によって、対応出来る作品を提案させて頂きます。また明るい環境でも高性能プロジェクターで対応すればカバー出来ることもたくさんあります。

## コロナ対策その6 「人数制限！時間制限！」

またあまりにも会場が混み合いすぎるなどの問題が出そうな場合は、入場制限や時間制限などを行う事が必要があります。このことはあらかじめお客様に伝えておく事が良いかと思います。

## コロナ対策その7 「小規模イベントにも対応！」

大規模なイベントは出来ないなんて時には、小規模イベントにも対応します！

1作品だけでも、例えばワークショップのイベントにしたりすることで、お客様の満足度も保ちつつ、小規模でイベント展開することが可能です。  
もちろんワークショップイベントも全てコロナ対策を行っています。→対応作品例「らくがきとはしろう!スーパー6m走」など



# withコロナ時代を生き抜く 安心安全なコロナ対策イベント運営

## コロナ禍でのイベント例、実績など

コロナ禍でも数ヶ月間イベントを無事にやり遂げている事が安心なイベントの証拠です！

### 東京都羽村市の幼稚園イベント事例



### 愛知県江南市こども園イベント事例



### 福井県敦賀市の福井原子力センター「あっとほうむ」での デジタルスポーツミュージアム（展覧会）イベント実績



### 神奈川県南足柄市の保育園イベント事例



### 大阪府大阪市の近鉄百貨店あべのハルカス（商業施設）でのデジタルショー事例



### 大阪府大阪市の近鉄百貨店あべのハルカス（商業施設）での デジタルスポーツミュージアム（展覧会）イベント実績

